



壊されるのも癒されるのも、やっぱり人だから。

虐待サバイバーたちの叫びと夢を知ってください。今なお苦しみながら生きている彼らの魂の叫びと希望を。共感し合える仲間とつながり、より良い明日をつかみ取ろう。そして虐待をしない子育てを一緒に考えよう。



# Doku Oya Art Fes 2022

## トークイベント

11月19<sup>±</sup>20<sup>日</sup>  
14:00 ~ 18:00



後藤 富和  
Goto Tomikazu  
弁護士、福岡大学非常勤  
講師、九州弁護士会連合  
会人権擁護委員



杉山 佐和子  
Sugiyama Sawako  
虐待サバイバー、  
「NPO法人LOCUS・虐待サバイバー  
をつなぐ会」代表理事

福岡市市民福祉プラザ

3F 交流広場

参加費:無料



# Doku Oya Art Fes 2022

## トークイベント 11月19日 20日

20日は18:30より懇親会(唐人町商店街まんてい)先着13名まで

### 「NPO法人LOCUS・虐待サバイバーをつなぐ会」

当法人は虐待環境を生き延びた被害者と共に、より生きやすくなる明日を目指しています。フラッシュバック、鬱、PTSDなど様々な症状に苦しみ、現在も手探りしながら懸命に生きている仲間たちの居場所です。

このイベントでは、虐待サバイバーである当事者に描いて頂いたアートを展示します。

散々傷ついた過去のフラッシュバックのため、悲鳴をあげるサバイバーの苦悶が描かれた作品、また苦しみの中にも「なりたい自分」を目指すサバイバーの希望を描いた作品もあります。

虐待サバイバーは“あなたであり私”でもあります。展示されたアートから、あなたはどんなメッセージを受け取のでしょうか。

トークライブとシェアタイムも同時に開催します。

子どもの権利(4つの柱)、人権、そして虐待せずにする子育ての方法を参加者の皆さんと共に考えたいと思います。

虐待サバイバー当事者も、そしていま子育て中のお父さんお母さんにも是非参加して頂ければ幸いです。

サバイバーの皆さんは、もし可能ならば会場では是非その感情体験をお話してください。

すでに公助の対象外の年齢となり、今も苦しんでいる皆さんが仲間としてつながり、仲間の支えと共感、見守りがある安心安全な場で自分と向き合い、仲間との共通点を探しながら回復への一歩を踏み出しませんか？

## Talk

トークライブ・スピーカー紹介



後藤 富和  
G o t o Tomikazu

1968年生まれ  
弁護士、福岡大学非常勤講師、福岡県弁護士会LGBT委員・校則PT委員、九州弁護士会連合会人権擁護委員、日本若者協議会校則見直しガイドライン作成検討会議委員、福岡市立警固中学校PTA元会長  
著書「校則改革 理不尽な生徒指導に苦しむ教師たちの挑戦」(共著)



杉山 佐和子  
Sugiyama S a w a k o

1963年生まれ  
虐待サバイバー。  
「NPO法人LOCUS・虐待サバイバーをつなぐ会」代表理事

幼少期より激しい暴力。暴言。否定、無視、ネグレクトなどの虐待を受け続け、19歳で親元から避難し独立。

その後22年間、虐待による精神症状緩和の為、投薬治療を受けながら、サガテレビリポーターを始めとしてCMナレーター、イベントMCなどのアナウンス業務に従事。42歳で現役を退き専業主婦になる。

親元から逃げたのちも虐待後遺症(マルチトリートメント症候群)に苦しみ現在も治療中。虐待をなくすため、また虐待経験に苦しむサバイバーの役に立ちたいと考え、2017年に任意団体「ふくおかac」を設立。2020年2月、現在のNPO法人を設立。

「未来は変えられる」が座右の銘。

## Access

交通アクセス

福岡市市民福祉プラザ  
3F交流広場 定員40名

福岡市中央区荒戸 3-3-3 9

地下鉄:「唐人町駅」下車、4番出口から徒歩7分  
西鉄バス:「黒門」下車 徒歩5分



## Info

主催・問合せ先

虐待サバイバーをつなぐ会



ロークス

Tel: 092-410-4589 Mobile: 090-9570-7702

Mail: npo.locus.no.abuse@siren.ocn.ne.jp

後援 福岡市

## Reserve

ご予約

こくちーず からご予約いただけます

19日



20日

